

04 やりがいと生きがいを持って働けるまちへ

「企業力」が最大化されるまち尼崎

◆関西地域No.1のイノベーション都市を目指す

「企業立地方針」を踏まえた企業誘致とイノベーション拠点「ARKade」を最大限活用した創業・事業継承支援を行うとともに、地元企業の海外展開を支援します。

尼崎への来訪者を増やす

◆観光振興のための新たな財源確保

宿泊施設の誘致に取り組むとともに、宿泊税など、新たな観光財源の確保に向けた検討を進めます。あわせて、推し活観光などの取組を強化し、交流人口を増やします。

◆「昭和レトロ」を活用した地域振興

商店街、純喫茶、銭湯など尼崎に残る「昭和レトロ」を活かした観光振興を進めます。

「働く」場所としての魅力を高める

◆地域産業人材の育成

人手不足が顕著な建設・土木・電気・機械等の人材確保に向けた就職フェア、学校との連携等の取組を進めます。

豊かな食環境の実現

◆「あまやさい」の地産地消の推進

地域で採れる「あまやさい」の魅力を多くの市民に知ってもらう取組を進め、「あまやさい」の地産地消を進めます。あわせて、オーガニック野菜も含めた学校給食での提供を進め、食育にも活かします。

◆市内企業資産の「稼働率」の最大化

市内企業の遊休土地・資産を把握しマッチングを進め、産業用地・建物の「稼働率」の最大化を目指します。

◆阪神タイガースと連携した周遊性向上

ゼロカーボンベースボールパークに来場されたお客さんが尼崎に長く滞在してもらうための周遊イベント等の取組を進めます。

◆中小企業の「職場」としての魅力を高める

働き方改革や子育て支援など、様々な取組・工夫をしている企業を認証し、中小企業で働く魅力を広めます。

◆公設地方卸売市場の再整備

老朽化している公設地方卸売市場を、現在に合った規模で再整備し、あわせて、「あまやさい」をはじめとする市場・地域の食材を市民が購入できる「賑わい施設」(BtoC機能)を整備します。

05 市役所は、「豊かなあまがさき」を実現するプラットフォームに

「市役所のチカラ」の強化

◆市民の声を反映した政策の推進

「車座集会」、まちづくり提案箱、地域担当職員による協働の取組など、あらゆるチャンネルを使い、市民の声を受け止め、政策へと昇華することによる魅力向上・課題解決や日々の運用改善を図るサイクルを強化します。

◆政策決定に若者の声を

学校教育などあらゆる政策に若者の声を積極的に反映させるための「ユースワーク」の取組を強化します。

◆戦略的広報の実施

イメージ改善、施策充実など「どんどん良くなる尼崎」を市内外に戦略的にPRします。

◆組織力を高めるための人材確保

福祉人材等の専門職や技術職をはじめ行政サービスの担い手確保に取り組みます。

◆持続可能な財政運営の実現

その時々を経済社会情勢を踏まえた、メリハリある財政運営を行い、財政調整基金は標準財政規模の20%を念頭に置きながら段階的な確保を図ります。あわせて、金利や建築資材が高騰する中であっても、財政運営方針を踏まえた必要な投資と財政規律の両立を図ります。

◆本庁舎建替プロジェクトの始動

行政サービスや防災拠点の中枢を担う簡素で効率的な本庁舎の建替えに向けた検討に着手します。

◆「スマート窓口」の実現

市役所の窓口に来る皆様の時間を返す視点から、窓口のデジタル化などスマート化を進めます。あわせて、「行かない窓口」を実現するための取組を推進します。

メリハリある業務の推進

◆市長退職金の評価制度の導入

市長退職金のうち、論功行賞的要素が強い部分(約5割)について、市民評価制度を導入します。

◆行政委員会委員の報酬の検証・見直し

行政委員会の報酬・勤務の実態等の検証を行い、より適正な報酬形態となるよう見直しを行います。

◆外郭団体の責任ある運営体制の実現

市が出資して設立されている外郭団体の責任ある運営体制を構築するため、事業・予算査定・職員派遣等の評価システムを構築します。



松本 眞

まつもと しん

あまがさきを豊かに

ENRICH OUR AMAGASAKI



ともにつくる尼崎みらいプロジェクト

TEL.06-6430-7355 FAX.06-6430-7356

兵庫県尼崎西難波町1丁目5-14-102

日々の活動をホームページ、Facebook、TwitterなどのSNSにも掲載しております。是非、ご覧ください。

松本しん 検索

あまがさきを豊かに。

5つの基本方針

希望を持って子育てできるまちへ

愛着と誇りを持てるまちへ

お互いを尊重し、助け合える、豊かな「関係性」のあるまちへ

やりがいと生きがいを持って働けるまちへ

市役所は「豊かなあまがさき」を実現するプラットフォームに

松本 眞

まつもと しん

あまがさきはまだまだ成長できる!

2022年12月に尼崎市長に就任して以来、「あまがさきを次のステージに!」をキャッチフレーズに、市民の皆様にとって、胸を張ることのできる尼崎とすることができるよう、全力で政策推進に邁進してまいりました。市長の仕事を通じて、改めて強く感じることがあります。尼崎市は、「可能性に満ち溢れた地域である」ということです。人情味豊かな住民の皆様、高い交通の利便性、都市部にありながら豊かな自然環境と歴史文化、そして日本を代表する技術を有する多くの地域産業。もちろん、課題もたくさんあります。しかし、課題を克服し、そして、尼崎の強みをもっともっと伸ばしていけば、尼崎は、必ず、これから成長し、責任を持って次世代に引き継ぐことができる素晴らしいまちになると、私は確信しています。

こども医療費や学校給食の負担軽減など「働くも子育てでも応援するまち」の実現、「尼崎琴葉中学校」の新設など不登校支援の取組の充実、阪神尼崎駅前中央公園や阪神タイガースと連携したゼロカーボンベースボールパークをはじめとする小田南公園の再整備、大物公園や南の口公園のリニューアル、阪急塚口駅前や園田駅前の整備など、地域の「価値」を上げていくための街づくりも進んでいます。阪神尼崎駅近くには、イノベーション拠点「ARKade(アーケード)」も新たにオープンしました。学校体育館等への空調整備や武庫之荘駅前の新図書館整備、阪急武庫川新駅の開設に向けた準備も進んでいます。かつて、長らく、財政が厳しいと言われてきた尼崎。この4年で将来負担(市債残高)は約458億円改善しました。責任ある財政運営を行い、未来への投資を着実に進め、「豊かなあまがさき」を作ることが私の使命です。

「あまがさきを、豊かに。」 まだまだやらなければならないことはたくさんあります。松本しん、引き続き、尼崎市政を全力で前に進めてまいります。

プロフィール

松本 眞 (まつもと しん) 1979年9月21日生まれ47歳

- 血液型……………O型
- 家族構成……………妻(文科省時代の同僚)と3男児
- 趣味……………ジョギング、料理、子どもと釣り
- 好きな言葉…………人間万事塞翁が馬
- 好きな食べ物…………ラーメン

小学校時代は野球少年で昆虫博士。中学校・高校・大学は陸上部でした。共働きのため、朝ごはんの準備や学校給食がない日の子供たちのお弁当づくりは私の仕事で、家事・子育てを夫婦で乗り切ってます。

経歴

- 2005年 東京学芸大学・大学院卒
文部科学省入省
(ICT教育、大学、科学技術などを担当)
- 2013年 内閣官房出向(～2015年)
- 2016年 育児休業取得(3か月)
- 2018年 尼崎市教育長(3年間)
- 2022年 尼崎市長就任(1期目)



HP

LINE

Facebook

YouTube

Instagram

X

最新の活動やお知らせはSNSからご覧ください

info@matsumotoshin.jp

実績

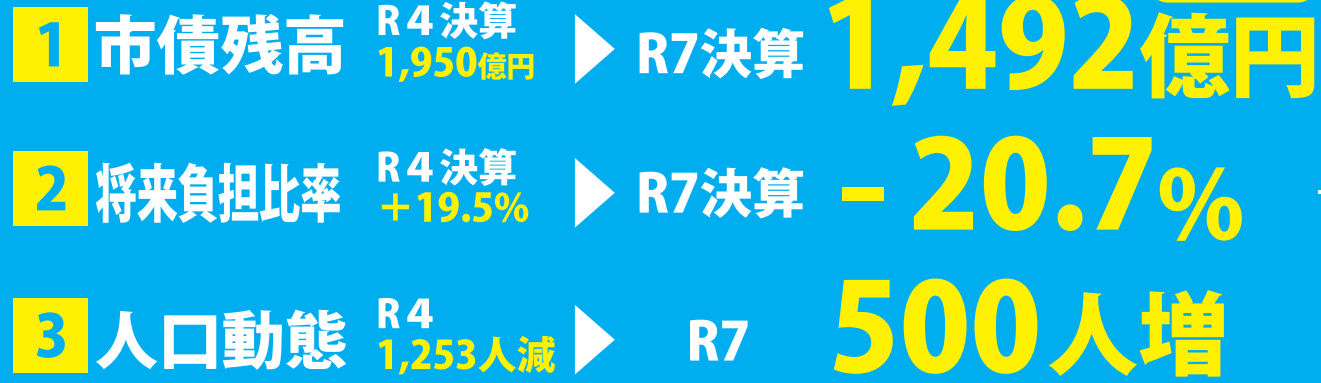
この4年間で進んだこと、実現されたこと

あまがさきを豊かに



松本眞 まつもと じん

主要数値



※将来負担比率:地方公共団体の借入金(地方債)など現在 抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で示したもので、借入金の総額以上に、返済に使える金額などを保有している場合に「マイナス」となる。

主な取組

01 「働く」も「子育て」も応援！

※子ども・子育てに伴う「経済的負担」「時間的負担」「心理的負担」の3つの軽減を実現するため、「あまがさき子ども・子育てアクションプラン」を策定し、3年間で40のアクションに50億円を投資。

経済的負担の軽減

- 妊婦健診費用助成の拡充
- 子どもの医療費助成の拡充
- 保育料を阪神間他都市より低い額に設定
- 学校給食費負担大幅軽減(小学校無償化、中学校半額)

「働く」と「子育て」の両立支援

- 保育所待機児童ゼロ実現
- 児童ホームの開所時間延長・昼食配達サービス開始
- 託児付きコワーキングスペースの設置

学びの保障

- 尼崎琴葉中学校(学びの多様化学校)開校
- フリースクール等利用料の補助開始
- スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤーの配置
- インクルーシブ教育・保育推進体制の強化

安心して子育てできる環境実現

- 児童相談所の設置
- 24時間子育て電話相談窓口の設置
- 訪問型病児保育サービスの導入



尼崎琴葉中学校



児童相談所

02 まちの魅力とイメージ向上

都市公園の整備

- 阪神尼崎駅前中央公園、大物公園・大物川緑地、南の口公園の整備
- 阪神電鉄と連携したゼロカーボンベースボールパークの整備と小田南公園のリニューアル
- 西武庫公園内に「武庫健康ふれあい体育館」整備、あわせて、ドッグランの試験設置

良好な住宅地形成

- 弁護士や司法書士と連携した空家対策の強化、相続登記の推進
- 兵庫県と連携した住宅取得支援等の仕組み構築

駅前アップデート

- 阪急塚口駅周辺道路・園田駅前広場の整備
- 交通利便性アップ
- 園田西武庫線開通に伴う新しいバス路線の整備
- AIオンデマンド型交通の実証運行開始

安全安心なまちづくり

- 暴力団事務所運営禁止の条例化【全国初】
- 路上喫煙禁止区域の拡大と過料徴収の仕組み導入
- 防犯カメラ設置補助の拡充



南の口公園、大物川緑地、阪神尼崎駅前中央公園、阪急塚口駅前広場、阪急園田駅前広場、ゼロカーボンベースボールパーク

03 誰もが暮らしやすいまちの実現

- 休日夜間急病診療所の移転・リニューアル
- 福祉サポートが必要な方のための「重層的支援体制」の整備
- 医療的ケアが必要な子どもの保護者のレスパイト(休息確保)のための支援制度創設
- 市民の心情に寄り添ったペット遺体の引き取りの仕組みの創設
- 放課後日本語ボランティアの取組支援強化
- 犯罪被害者等支援の拡充



休日夜間急病診療所

04 地域経済活性化

- 物価高騰対策の実施(お米ギフト券配布、水道料金減免、給食費無償化、あま咲きコイン等)
- オープンイノベーション拠点「ARKade」の開設
- 企業誘致の取組強化(「企業投資活動促進制度」の拡充)
- あまやさい地産地消推進店」制度の創設
- 冷蔵機能付きあまやさい販売機の導入
- 「子育て応援企業表彰制度」の創設
- 公用車へのエコカー導入など脱炭素の取組を推進
- 阪神タイガースやSEKISUIチャレンジャーズなどスポーツチームとの連携強化



オープンイノベーション拠点ARKade

05 市役所の機能強化と財政改革

- 「デジタル政策監」を外部登用・市役所DXの推進
- 行政手続のオンライン化
- 68手続(R4)→227手続(R7)【159手続増加】
- 乳幼児予防接種や児童ホーム入退室管理等のデジタル化
- 財政の収支均衡確保と将来負担の軽減
- 市長退職金 5 割削減

松本しんの約束

「残された課題」を克服し、「尼崎の強みを最大限伸ばす」ことを通じ、「尼崎の「豊かさ」を追求します。市民の皆様が、愛着と誇りを持って暮らし・働けるまちを目指します。

01 希望を持って子育てできるまちへ

子育て支援の充実(「働く」も「子育て」も応援)

◆保育料のさらなる負担軽減

国で無償化されていない0・1・2歳の保育料を、市独自で、第2子半額・第3子無償とし、兄弟が何歳であっても対象とします。

◆保育所待機児童ゼロの継続

保育所の待機児童ゼロを継続し、「働く」と「子育て」の支援環境を充実します。

◆病児保育の強化

施設型病児保育の要件緩和等を進め、病児保育を実施する施設数を増やします。

◆5歳児健診の実現

小学校に上がる前の5歳児の健診を新たに開始し、保幼小連携環境を充実します。

◆「小1の壁」の克服(児童ホーム等の受け皿強化)

児童ホーム・こどもクラブを充実させ、小学校での待機児童の受け皿強化を図ります。

◆社会的養育が必要な子どもへの支援の充実

里親の確保や自立援助ホームへの支援など、社会的養育が必要な子どもへのサポート体制を充実します。

◆ポートレース尼崎の「パーク化」の推進

Mooviをはじめとするポートレース尼崎の「パーク化」を進め、子育て世帯が遊べる環境を充実します。

学校教育の充実

◆学校体育館等への空調整備

2028年度までに市立の全小・中・高等学校の体育館等の空調を整備完了します。

◆学校環境アップデート計画

学校施設・設備、電子黒板等の子どもたちの学習環境を集中的にアップデートします。

◆学校DXの推進

保護者と学校のやり取りをデジタル化し、負担軽減を実現します。

◆中学校部活動の地域展開の円滑な推進

子どもたちの活動環境が守られるよう、地域クラブの充実、夜間照明等の学校施設環境の充実等を進めます。

◆不登校児童生徒への支援強化

不登校児童生徒に対する学校健診・歯科健診の個別受診化を実現します。あわせて、尼崎琴葉中学校の給食を実現します。

02 愛着と誇りを持てるまちへ

エリアブランディング推進

◆図書館環境の圧倒的充実

2030年度までのオープンを目指し大井戸公園内に新図書館を整備します。あわせて、中央図書館のリニューアル構想の具体化と各地域の図書館環境を充実します。

「利便性の高さ」を伸ばす

◆阪急武庫川新駅の開業

2032年までの阪急武庫川新駅の開業を目指し、阪急電鉄・西宮市と連携しながら準備を進めます。あわせて、周辺の公園・道路等の環境整備を進めます。

「住む」場所としての魅力アップ

◆市内住宅の稼働率のアップ

ファミリー世帯の定住・転入促進のため、眠っている住宅ストックの稼働率を上げます。税制も含め面的効果を期した「尼崎モデル」の総合的な空き家対策を進めます。

◆「あまがさきセーフティグリッド構想」の始動—防犯カメラ1000台プロジェクト—

市内に1000台の直営防犯カメラを設置するとともに、新規マンション建設時の防犯カメラの整備を義務化し、安全・安心な住環境を実現します。

南部地域の活性化

◆尼崎南部の再活性化に向けた取組推進

阪神タイガースゼロカーボンベースボールパークから連なる大物川緑地を整備するとともに、旧尼崎紡績本社屋(旧ユニチカ記念館)の耐震化を行い、南部地域の周遊性を高めます。なお、旧尼崎警察署は老朽化のため解体・撤去するとともに、周辺地域も含め、新たな価値創出に向けた検討を進めます。

持続可能なまちづくりの推進

◆公害の教訓を活かしたまちづくり

アスベスト被害者に対する恒久的な健康管理制度の構築等、被害者に寄り添った取組を充実するとともに、公害の教訓を未来につなぎます。

◆都市公園アップデート計画の推進

芦原公園、西武庫公園、大井戸公園、宮前公園、元浜緑地等の公園環境をアップデートし、多様な世代が快適に過ごせる空間を形成します。あわせて、ペット愛好者が増えている現状に鑑み、市内のドッグラン環境を充実します。

◆「新たな公共交通手段」の導入に向けた検討具体化

高齢化が進んでいる中で、尼崎の強みである「利便性の高さ」を維持・向上させるためのコミュニティ・バス等の「新たな公共交通手段」の導入に向けた検討を具体化します。

◆公共空間アップデート計画の推進

駅前の公共サイン等のリ・デザイン、生活道路のアップデート・管理の質向上を進め、快適な公共空間を形成します。

◆住工混在地域の解消に向けた取組推進

フェニックス事業用地の分譲と連携した住工混在地域の解消に向けた取組を進めます。

◆スポーツ・文化に親しむ機会の充実

誰もが身近にスポーツや文化を楽しむことができるまちを目指します。また、地元クラブチームとも連携しながらまちの活性化に取り組みます。

◆総合文化センター大規模改修方針の再検討

本年4月に閉館したアルカニックホール及び文化棟については、担い手確保の困難性等を踏まえ、大規模改修の方針を見直したため、今後「市民利用」とコンパクト化及び効率性の確保の両立を目指した検討を行い、2027年度中にその方向性をまとめ、可能な限り早期に、市民の皆様が文化芸術活動を楽しむことができる環境構築に向けて取組を進めます。

◆環境に配慮したまちづくり・「水辺の楽校」の実現

SDGsの理念に基づく環境改善や脱炭素・資源循環を意識した取組を進めます。また、猪名川・藻川を活用した学びと遊びの場「水辺の楽校」の実現に向けた取組を進めます。

03 お互いを尊重し、助け合える、豊かな「関係性」のあるまちへ

地域の「関係性」の豊かさの実現

◆地域の福祉会館の有効活用

地域の福祉会館の有効活用を通じた子育て世代から高齢者までの「つながり」の強化を進めます。

◆市民発意の取組支援の充実

市民とのコミュニケーションを、全庁挙げて豊かにし、そこから生まれた市民発意の様々なアイデアの実現に向けて協働で取り組みます。

ご高齢者や障害児・者の生活の豊かさの実現

◆意欲あるご高齢者の活躍する「場」の充実

ご高齢者を対象とした就職支援や「高齢者生きがい・就労事業」などを通じ、ご高齢者の充実した生活に寄与します。

◆ご高齢者の終活支援充実

身寄りのないご高齢者が増えている実態を踏まえた終活支援、死後事務支援等を強化します。

◆健康寿命を延ばすための取組強化

運動、栄養・口腔、社会参加を意識したフレイル対策や認知症予防対策など、健康寿命を延ばすための取組を推進します。

◆動物愛護の取組推進

多頭飼育崩壊等を防止するため、「多頭飼育届出制度」を創設するとともに、飼い猫の不妊去勢手術助成制度を導入します。あわせて、福祉部局を含めた、重層的な支援を行います。

◆災害に強いまちづくりの推進

地域の防災力を高めるとともに、防災情報の発信強化や避難所環境の改善に取り組みます。

◆救急体制の充実・強化

高齢化が進み救急需要が急増している中で、時代に合った消防体制を検討した上で、救急隊を12隊体制(日動救急隊を除く)とし、安心できる救急相談・救急出動体制を維持します。

◆重度心身障害児・者への支援強化

医療的ケアに加え、市独自の重度心身障害児・者の保護者のレスパイト(休息)環境を実現します。

◆障害者の「老々介護」の問題への対応

高齢化する障害者とその親が安心して生活できるための環境を整備します。

◆法人後見制度の構築

認知症や障害などにより判断能力が不十分な方の財産や権利を守る環境を充実するため、法人後見制度の構築に取り組みます。

